

## 新春ご挨拶

あけましておめでとうございます。2017年2月、当社は創立10周年を迎えました。創立当初より「PHR」をキーコンセプトに、個人の健康をICTとサービスでサポートしていくことを理念に事業を推進して参りました。この間、私たちを取り巻く社会も、少子高齢化の進展に伴う健康長寿社会の実現を目指して、様々な取り組みが行われてきています。

企業においても、従業員の健康管理を経営的視点からとらえ戦略的に実践していこうとする「健康経営」の考え方が注目されています。健康保険組合においては2018年度からのデータヘルス計画第2期・特定健診保健指導第3期が開始されます。さらには健康経営銘柄・ホワイト500などの企業における健康活動評価が更に拡大していくと考えられます。また、これらは結びつきを深め、本格的なコラボヘルスの世界に拡大していくことが想定されます。それに伴う様々な事業検討により、健康産業成長の道筋が本格化しているのではないのでしょうか。

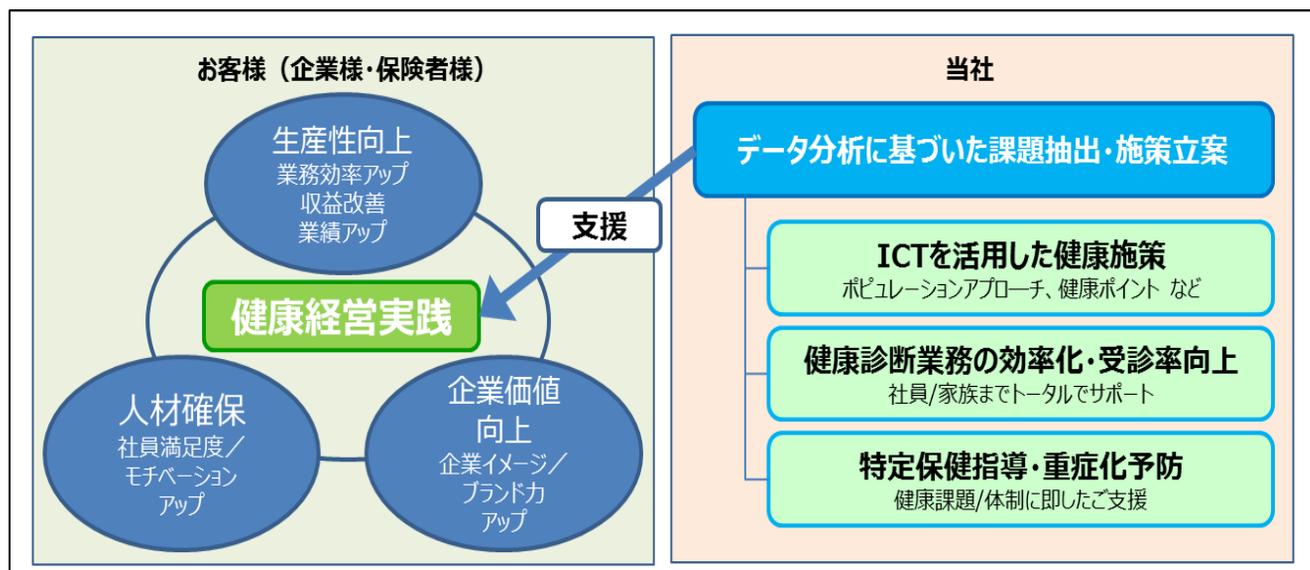
政府の成長戦略の一つに、「Society5.0」があります。狩猟社会から始まった社会は農耕社会・産業社会・情報社会と変化してきました。社会形態の新形態で、5世代目ということですが。仮想社会と現実社会の融合がテーマとなります。この中の未来投資戦略のトップは「健康寿命の延伸」です。これからはその変化に対応し、大きく飛躍していかなければなりません。しかし、これらの新たな取り組みは玉石混交であることは言うまでもないと思います。

「着眼は大局から、着手は小局から」との言葉があります。大局から動きをつかみつつ、当社の強みを生かせる小局をきっちり捉えながら、確実な前進につなげて行きたいと考えます。そのためのキーワードとして、「サービスの提供から評価へ」「お客様に驚きを与える相互理解による会話」「我々を支援するICT/AIの活用」といったことを念頭に、今後のさらなる事業推進を通じて健康社会の実現に寄与して参ります。

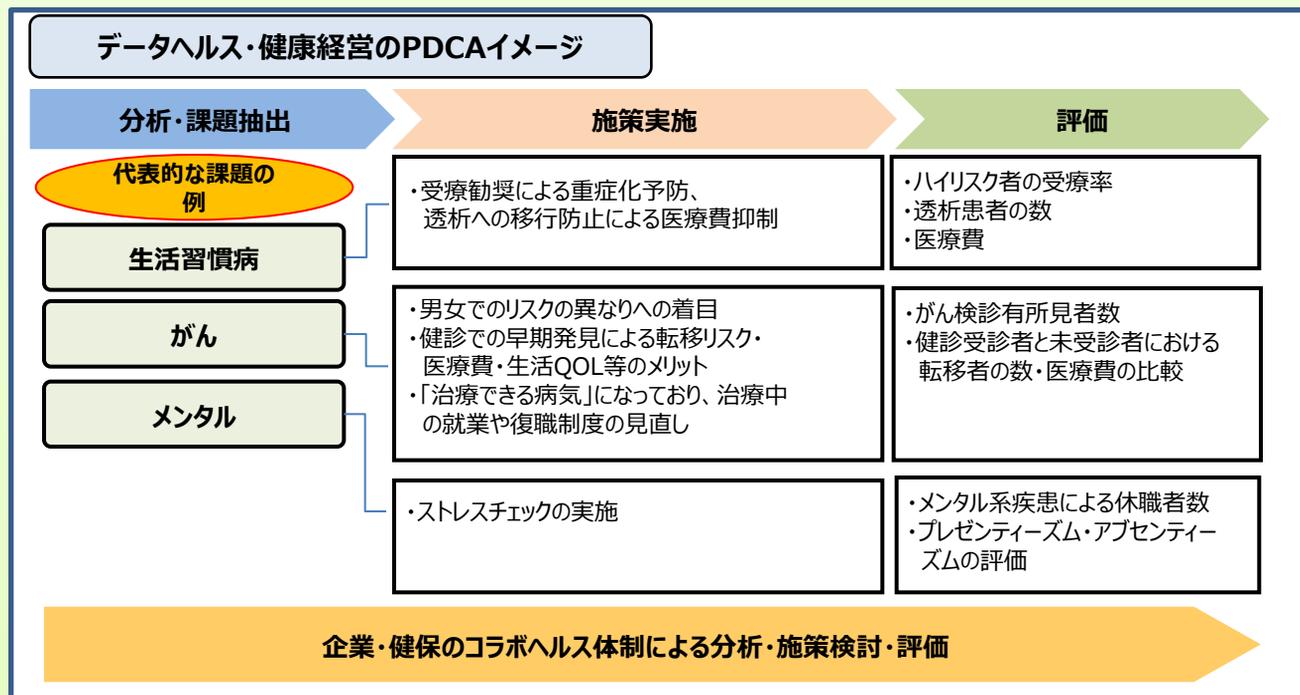
2018年1月  
代表取締役社長 齋藤 稔

## データヘルス・健康経営サービスのご紹介

お客様企業様・保険者様の取組状況に応じたサービスをご提供する事で、健康経営への取り組みを様々なかたちでサポートさせていただきます。（詳細サービスについては裏面をご覧ください）



健康経営とは、「**企業が従業員の健康に配慮することによって、経営面においても大きな成果が期待できる**」との基盤に立って、健康管理を経営的視点から考え、戦略的に実践することを意味しています。従業員の健康管理・健康づくりの推進は、単に医療費という経費の節減のみならず、**生産性の向上、従業員の創造性の向上、企業イメージの向上**等の効果が得られ、かつ、企業におけるリスクマネジメントとしても重要です。この考え方に基づき、「健康経営銘柄」や「ホワイト500」など、健康経営に積極的に取り組む企業を国が認定する動きが活発になっております。当社は、富士通グループや様々なお客様と取り組んできた様々な健康サービスを体系化し、**お客様企業様・保険者様の取組状況に応じたサービスをご提供**する事で、健康経営への取り組みを様々なかたちでサポートさせていただきます。

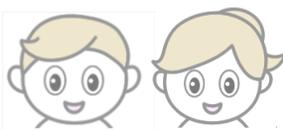


保険者様・事業主様によって、データヘルスや健康経営に対する取組状況には差異がございますが、弊社は**現在の状況に応じた最適なサービスの組み合わせをご提供**いたします。

＜ステップ1＞ データを集める	＜ステップ2＞ データを分析する	＜ステップ3＞ 分析結果を活用する
<p><b>1-1. 健診結果</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①受診勧奨のご支援</li> <li>②利用健診機関の拡大</li> <li>③巡回健診の実施</li> <li>④健診結果入力サービス</li> <li>⑤健診結果管理ツール</li> </ul>	<p><b>2-1. データ分析</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①医療費統計</li> <li>②データ複合分析</li> <li>③保健事業効果測定</li> </ul>	<p><b>3-1. 特定保健指導</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①予約勧奨</li> <li>②初回面接～最終評価実施</li> <li>③継続支援</li> <li>④ITツール提供</li> <li>※遠隔保健指導サービスも可</li> </ul>
<p><b>1-2. レセプトデータ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①データのクレンジング</li> <li>②個人情報の匿名化</li> </ul>	<p><b>2-2. データヘルス</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①重点施策検討支援</li> <li>②データヘルス計画策定支援</li> </ul>	<p><b>3-2. 重症化予防</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①対象者抽出</li> <li>②受療勧奨</li> <li>③保健指導</li> </ul>
<p><b>1-3. 保健指導データ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①特定健診管理ツール</li> <li>②健診事後措置管理ツール</li> <li>③保健指導アウトソーシング</li> </ul>		<p><b>3-3 コラボヘルス</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①事業所診断（健康通信簿）</li> <li>②ポピュレーションアプローチ</li> <li>③インセンティブプログラム</li> </ul>

■■■■編集後記■■■■

10周年を迎えスツクの発行となりました。今回は、今取り組んでいる「データヘルス・健康経営サービスのご紹介」についてお届けいたしました。次号も年内に出せるようがんばります！



発行元：  
株式会社ベストライフ・プロモーション  
川崎市中原区上小田中4-1-1 富士通川崎工場内  
TEL：044-754-2060 FAX：044-754-2029  
URL：http://www.blp.co.jp